NIKKO TO GO!

IT'S A WONDERFUL & MAGICAL EXPERIENCE.

NIKKO, the place to go!

INDEX

4 STORY ＃01
壮麗な世界遺産、もうひとつのパワースポット

6 日本が誇る世界遺産
日光東照宮／日光山輪王寺／日光二荒山神社

8 もうひとつのパワースポット
日光山輪王寺観音堂（香車堂）／憾満ヶ淵／日光山中禅寺 立木観音

10 STORY ＃02
多彩で鮮やかな表情を見せる自然の姿

12 ダイナミックなパノラマを楽しむ旅へ
中禅寺湖／華厳ノ滝／戦場ヶ原／竜頭ノ滝
自然と触れ合うアクティビティ　SUP／サイクリング／ネイチャーツアー

14 日光の歴史とともに存在し続ける自然の姿
湯ノ湖／湯滝／日光杉並木街道／日光の温泉を巡る
鬼怒川温泉／川治温泉／湯西川温泉／川俣温泉／奥鬼怒温泉／日光温泉／奥日光湯元温泉

16 STORY ＃03
味わい、体験する日光　その日常と非日常

18 味わいと伝統工芸に会いに
日本酒蔵元［渡邊佐平商店］／天然氷［松月氷室］／たまり漬［上澤梅太郎商店］
日光彫［歌ケ浜 山田屋］／一筆龍［日光一筆龍 髙瀬］／精進料理［堯心亭］

20 ときめきの非日常体験
湯西川温泉かまくら祭／EDO WONDERLAND 日光江戸村／東武ワールドスクウェア

22 由緒あるリゾート地としての奥日光
ザ・リッツ・カールトン日光／星野リゾート 界 日光／中禅寺金谷ホテル

24 日光をアクティブに楽しむ 3 つのモデルコース
コースA［日光国立公園の自然を体感するショートトリップ］
コースB［着物で歩きながら日光の神秘に触れる世界遺産巡り］
コースC［鬼怒川温泉付近のアクティビティやテーマパークを楽しむ旅］
一年中楽しめる日光のいちご狩り

26 バス・電車情報

神秘の地への旅の始まり

歴史と文化、そして自然が類稀なる調和を見せる日光。
それは心揺さぶる感覚と体験に満ち溢れている地。
まだ見たことのない景色が、出会ったことのないものが、
心の奥深くに刻まれる。

STORY #01

壮麗な世界遺産、もうひとつのパワースポット

日本でも有数の聖地であり、
壮麗な世界遺産を有する日光。
豊かな自然に恵まれたこの地は
さまざまなドラマに満ち、
訪れる者を異次元に誘う。

はるかな時を超えて生き続ける物語

日光の歴史は奥日光から始まった。奈良時代（紀元710年～794年）の後期、あるいはそれ以前の古代から奥日光は山岳信仰の対象であり、僧侶である勝道上人が修験道の霊場として修行し、秘境であったこの地を拓いたとされる。
日光の魅力は自然と歴史の融合にある。約2万年前に男体山の噴火に堰き止められた水を湛える中禅寺湖や、それぞれ神の化身である大蛇とムカデが戦ったという伝説を持つ戦場ヶ原、そして勝道上人が発見した奥日光湯元温泉など、大自然の中に悠久の時を超え、壮大な物語を今に伝える稀有な場所なのだ。

平和への祈りの聖地として

日光における最もシンボリックな存在は「日光東照宮」「日光二荒山神社」「日光山輪王寺」であり、これらは日本が誇る世界遺産の一つでもある。この二つの神社と一つの寺はそれぞれ歴史が異なる。
「日光二荒山神社」と「日光山輪王寺」は、それぞれ奈良時代（紀元710年～794年）に創建され、奥日光と同様に山岳信仰の流れをくむものである。
「日光東照宮」は紀元1603年に江戸幕府を樹立した初代将軍・徳川家康が1616年に死去した後、その遺言に従って建てられその魂を神として祀ったもの。
家康が死後の安住の地に日光を選んだその理由は、北極星にある。彼の城があった江戸（東京）から見て日光は北に位置し、東照宮で最も有名な陽明門はその真上に北極星が輝く場所に建てられている。古来、北極星は宇宙全体の神と言われ、家康は自らをその星になぞらえて神として君臨し、世界の恒久平和を願おうとした。日光東照宮の建物には多様な動物の色鮮やかな彫刻群が見られるが、これらの動物の多くは平和を象徴している。このことからもわかるようにここは世界が安らかであるようにという祈りが込められた聖地なのである。

満ちあふれる大地のエネルギー

日光東照宮は日本有数のパワースポットと言われる。その理由は強力な龍穴（大地のエネルギーがみなぎる場所）の地に、古代中国で生まれた自然哲学思想に基づいた占術である陰陽道や、同じく中国由来の都市、住居、建物、墓などの位置の吉凶を決定するために用いられた思想「風水」を駆使し、運気の最もよいとされる場所に建てられているからである。全体が大きなエネルギーに満ちるこの場所は、訪れる人にいつも特別な何かを感じさせてくれる。

NIKKO, the place to go!

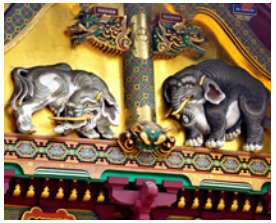
日本が誇る世界遺産

時代の文化の粋を集めた美しいパワースポットである日光の二社一寺。
大きなエネルギーが宿る日本有数のサンクチュアリ。

日光東照宮

住所 日光市山内2301　**TEL** 0288-54-0560

4月～10月　9:00-17:00(最終受付16:30)　11月～3月　9:00～16:00(最終受付 15:30)
日光東照宮春季例大祭　期間：毎年5月17・18日　場所：日光東照宮
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「世界遺産めぐりバス」乗車「表参道」下車



日光の名を世界的に有名にした「日光東照宮」。1467年から約140年間続いた戦国時代を終わらせ、それ以降260年に渡って続く江戸幕府を開いた初代将軍徳川家康を「東照大権現」と称し、神として祀っている。当初建立された東照宮は非常に簡素なもので、現在見られる豪華絢爛な社殿群は三代将軍家光（家康の孫）が現在の価値で約400億円もの工事費をかけ、わずか1年5カ月で作り上げた。建築をはじめ、彫刻や彩色などの装飾は当時の日本における最高水準の技術を持つ職人の手によるもの。鮮やかな色の陽明門をはじめ唐門やさまざまな動物、霊獣などの彫刻群が訪れる人を圧倒する日光の代表的なパワースポットである。
また、こちらで5月に行われるのが「日光東照宮春季例大祭」。白馬に乗った射手が表参道を駆け上がりながら的を射る勇壮な「神事流鏑馬」や鎧武者たちが1200人もの大行列を作って道を練り歩く「百物揃千人武者行列」ではタイムスリップしたかのような光景を見ることができる。

日光山輪王寺

住所 日光市山内2300　**TEL** 0288-54-0531

4月～10月　8:00-17:00(最終受付16:30)　11月～3月　8:00～16:00(最終受付 15:30)
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「世界遺産めぐりバス」乗車
「勝道上人像前」下車（大猷院は「大猷院 二荒山神社前」下車）

「日光山輪王寺」は日光東照宮、日光二荒山神社とともに「日光の社寺」として世界遺産に登録された寺院。その歴史は古く勝道上人が開山した766年に遡る。幅33m高さ26mに及ぶ本堂（三仏堂）は、東日本で最も大きい木造建築物であり、中に納められている三体の本尊（阿弥陀如来、千手観音、馬頭観音）の高さは7.5mに達する。また二荒山神社の西側にある「大猷院」は三代目将軍・徳川家光公を祀った廟所。金と黒を基調とした重厚な作りは日光東照宮同等の美しさを誇る。

日光二荒山神社

住所 日光市山内2307　**TEL** 0288-54-0535

4月～10月　9:00-17:00(最終受付16:30)　11月～3月　9:00～16:00(最終受付 15:30)
弥生祭　期間：毎年4月13日～17日　場所：日光二荒山神社、瀧尾神社、神橋、日光市内など
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「世界遺産めぐりバス」乗車「大猷院・二荒山神社前」下車

日光山信仰の中心地である「日光二荒山神社」。大きな杉の木に囲まれた境内には霊泉や縁結びの御神木などのパワースポットが数多くある。こちらの神社では男女の縁だけではなく、お金の縁、仕事の縁などあらゆる縁を結ぶ御利益があるとされている。
毎年4月に開催される「弥生祭」は奈良時代から1200年もの間続く伝統的な神事。ヤシオツツジの花をあしらった家体や祭りの装束をつけた人々が集う華やかな祭りとして知られている。

NIKKO, the place to go!

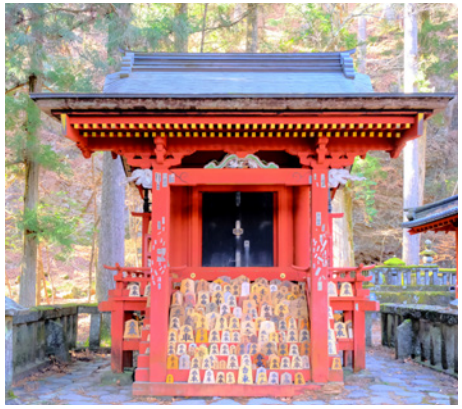
もうひとつのパワースポット

著名な二社一寺から少し離れたところにひっそりとたたずむのはもうひとつのパワースポット。古くから崇められてきた信仰の印を見つけにいきたい。

輪王寺観音堂（香車堂）

住所 日光市日光山内　TEL 0288-54-0531（日光山輪王寺）
アクセス　日光東照宮から北に徒歩約6分

病苦からの救済を本願とする楊柳観音を祀った輪王寺観音堂は、なかでも安産を願う人が多く訪れる。別名「香車堂」とも呼ばれ、お堂いっぱいに将棋の駒「香車」が奉納されている。「香車」は後ろに戻らずまっすぐ前に進むことから、妊婦がここにある駒を借りて自宅の神棚などに祀ると、無事出産できるといわれている。
この観音堂がある古い石畳の道「瀧尾古道」をさらに登って行くと、820年に創建された日光二荒山の別宮「瀧尾神社」にたどり着く。
また、この付近にはほかにも日光の開祖である勝道上人を祀った「開山堂」や学問の神様である菅原道真を祀った「北野神社」などが点在し、パワースポットとしても知られている。



憾満ヶ淵

住所 日光市匠町8-28　TEL 0288-22-1525（日光市観光協会）
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「中禅寺温泉」「湯元温泉」行き「総合会館前」下車　徒歩約12分

日光山内二社一寺から南西に1.1km付近、大谷川沿岸の「憾満ヶ淵」は、男体山から流れ出した溶岩によってできた小さな渓谷。その淵には約70体の古い地蔵がずらりと並ぶ。数えるたびに数が変わるから「化け地蔵」などとも呼ばれる。

日光山中禅寺 立木観音

住所 日光市中宮祠2578　TEL 0288-55-0013
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「中禅寺温泉」または「湯元温泉」行き「中禅寺温泉」下車　徒歩15分
（4/1～11/30　中禅寺温泉バスターミナルより「半月山」行き、または「立木観音・遊覧船発着所」行き「立木観音・遊覧船発着所」下車　徒歩1分）

784年、中宮祠と同時期に勝道上人によって建立された中禅寺は、中禅寺湖の名の由来となったお寺。日光で最も古い観音様である「立木観音」は、勝道上人が一刀彫りで自ら彫ったと言われており、今もその足元は大地に根を張っている。観音様の姿を写すことで願いがかなうと言われる「写仏」などの体験もできる。

STORY #02

多彩で鮮やかな表情を見せる自然の姿

ー日光国立公園ー

日本の一年を彩る4つの季節。
中でも日光の地は春夏秋冬の景色が一際鮮やかに変化する。
雄大な自然が織りなすその姿は、時に優美で時に厳しく、
あるいは穏やかさを見せつつ、激しさをのぞかせるなど
多彩な表情にあふれ、見る人を飽きさせない。

太古の山々が造った日光の自然美

ダイナミックな滝と湖、湿原、そして深い森。これらが織りなす日光国立公園の自然美は、日本でも有数とされる。この自然の美しさは、男体山を中心に連なる火山によって造られた。約2万年前に男体山が噴火し、それによって流れ出た溶岩が谷を堰き止め、中禅寺湖と戦場ヶ原湿原が出現。また、三岳の噴火では湯ノ湖が造られたとされる。これらの湖から流れ出た水は川となり、滝を下ってさらにさまざまな川と合流しながら大地を潤していった。長い年月をかけて育まれた日光の自然。その変化に富んだ絵画のような風景は訪れる人の感性を刺激してやまない。

生きとし生けるものたちのシャングリラ

あちらこちらに存在する手つかずの自然の姿は、この地に息づく動植物の命そのものでもある。日本国内でも屈指の大きさを誇るミズナラの自然林の中にはニホンジカやツキノワグマ、サル、キツネ、テン、ノウサギ、ニホンリスなどが多数生息し、またオオルリやキレンジャク、キビタキをはじめとする野鳥の楽園でもある。さらに奥日光中央部に広がる湿原の戦場ヶ原では5月になるとレンゲツツジやワタスゲ、ズミやクリンソウなど、色とりどりの花が咲き誇り、9月から11月にかけては紅葉が奥日光全体を紅や黄色に染める。このように季節ごとに移ろう自然を舞台にした命の物語もまた、旅する人の記憶に深く刻まれる。

NIKKO, the place to go!

ダイナミックなパノラマを楽しむ旅へ

奥日光は自然の宝庫。
季節ごとに変化するその姿が訪れる人を魅了する。

中禅寺湖

住所 日光市中宮祠　TEL 0288-22-1525 （日光市観光協会）
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「中禅寺温泉」または
「湯元温泉」行き「中禅寺温泉」下車

周囲約25km、最大水深163m、海抜1269mで、日本一標高（人造湖を除く4㎢以上の湖が対象）の高い場所にある湖。四季折々の景色は素晴らしく、それを眺めながらのクルージングSUPなどのアクティビティ、ハイキングなどが楽しめる。

華厳ノ滝

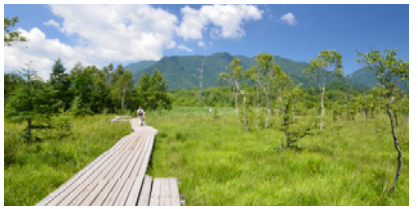
日本三名瀑のひとつとして有名な華厳ノ滝。97mの落差を水が一気に流れ落ち、とてもダイナミックな風景が見られる。明智平からロープウェイに乗り「明智平展望台」まで行くと、男体山・中禅寺湖・華厳ノ滝を一望することができる。

華厳滝エレベータ
住所　日光市中宮祠2479-2
TEL　0288-55-0030（華厳ノ滝エレベーター営業所）
時間　8:00〜17:00（季節により異なる。要問い合わせ）
明智平ロープウェイ
時間　8:40〜15:30（変動あり）
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「中禅寺温泉」または
「湯元温泉」行き「中禅寺温泉」下車

戦場ヶ原

場所 日光市中宮祠　TEL 0288-55-1525(日光市観光協会)
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から
東武バス「湯元温泉」行き「赤沼」下車

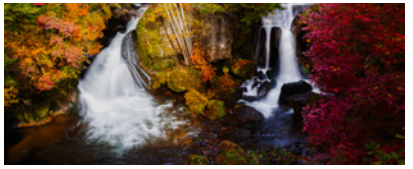
「中禅寺湖をめぐって、男体山の神と赤城山の神が戦った」という神話からその名がついた戦場ヶ原。男体山が噴火によって川がせき止められてできた湖が湿原化してできたエリアで、その面積は400ヘクタールと広大。ハイキングコースは木道が整備され、約2時間でぐるりと巡ることができる。湿原には350種類もの植物が自生しており、野鳥の種類が多いことでも有名。



竜頭ノ滝

住所 日光市中宮祠　TEL 0288-22-1525（日光市観光協会）
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から
東武バス「湯元温泉」行き「竜頭ノ滝」下車

男体山の噴火でできた溶岩の上を勢いよく流れる長さ210mの滝。滝壺付近で２つに分かれた形状が正面から見ると岩が「竜の頭」、左右の滝が「竜のひげ」に見えることからその名がついた。四季折々の風景が美しい。



NIKKO, the place to go!

自然と触れ合うアクティビティ

SUP（スタンドアップパドル）

サーフボードの上に立ち、一本のパドルで漕ぎながら水面を進む SUP。中禅寺湖では初心者でも安心・安全に SUP 体験ができる。

日本語のみ

Sup! Sup! Nikko
住所 日光市久次良町 242
TEL 0288-54-0118

サイクリング

中禅寺湖周辺では自転車の貸し出しを行っている。シェアサイクルでのサイクリングは、名所や見所に簡単にアクセスできるので便利。

奥日光シェアサイクル
住所 日光市中宮祠 2480-1
TEL 0288-55-0880（日光自然博物館）

ネイチャーツアー

自然解説員がガイドするネイチャーツアー。どのコースも豊かな奥日光の自然の中に生きる動植物や美しい風景に出会うことができる。

日光自然博物館
住所 日光市中宮祠 2480-1
TEL 0288-55-0880

NIKKO, the place to go!

日光の歴史とともに存在し続ける自然の姿

古くから天然の恵みに満ちていた日光。
今もその姿を変えず、旅人を誘う。

湯ノ湖

戦場ヶ原の先、奥日光の最深部にある周囲 3 kmほどの小さな湖。湖岸の散策路は約 1 時間で歩くことができ、ボートや釣りも楽しめる。

住所 日光市湯元
TEL 0288-62-1662（日光湯元ビジターセンター）
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「湯元温泉」行き「湖畔前」下車

湯滝

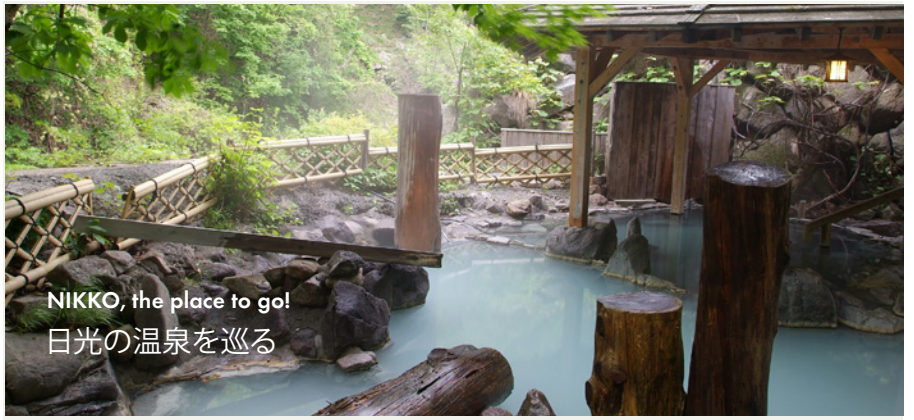
湯ノ湖の南端から流れ落ちる長さ 110m、高さ 70 m、最大幅 25mの大きな滝。華厳ノ滝、竜頭ノ滝とともに日光三名瀑のひとつに数えられる。落ち口、側面、滝壺と 3 方向から滝の姿を見ることができ、特に滝壺にある観瀑台では至近距離で観賞できる。

住所 日光市湯元
TEL 0288-54-2496(日光市観光協会)
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「湯元温泉」行き「湯滝入口」下車

日光杉並木街道

住所 日光市瀬川383-1　TEL 0288-22-9466
レンタサイクル 道の駅日光 観光情報館
アクセス　東武日光駅から「上今市駅」下車

ギネスブックでも「世界一長い並木道」として認定されている「日光杉並木街道」は、全長 37km、12,350 本にも及ぶ並木道。東照宮に祀られる徳川家康の 33 回忌に向け、20 年の年月をかけて植樹した杉の木の樹齢は、およそ 370 年〜380 年。その高さは 30mほどになる。



NIKKO, the place to go!

日光の温泉を巡る

数多くの温泉が点在する日光。豊かな自然と長い歴史によって発展を遂げ、国内でも有数の泉質、湯量を誇る。各温泉地には旅館やホテル、ゲストハウスなど数多くの宿泊施設があるので湯巡りステイを楽しみたい。

鬼怒川温泉

雄大な渓谷の絶景が望める関東有数の温泉地。周辺には多くの旅館、ホテルが立ち並び、情緒ある温泉街となっている。

アクセス　東武日光駅から「下今市駅」で東武鬼怒川線に乗り換え「鬼怒川温泉駅」下車

川治温泉

怪我に効能があるとされる温泉。渓谷に囲まれた静かな温泉地。

アクセス　東武日光駅から「下今市駅」で東武鬼怒川線に乗り換え「鬼怒川温泉駅」下車、「野岩鉄道」に乗り換え「川治湯元温泉駅」下車

湯西川温泉

約800年前に発見されたとされる山深い温泉地。毎年1〜3月には幻想的な「かまくら祭」が開催される。

アクセス　東武日光駅から「下今市駅」で東武鬼怒川線に乗り換え「鬼怒川温泉駅」下車、「野岩鉄道」に乗り換え「湯西川温泉駅」下車　そこから日光ダイヤルバスに乗車「湯西川温泉」下車

川俣温泉

鬼怒川源流近くの温泉地。深い山の景観を生かした露天風呂が多い。

アクセス　東武日光駅から「下今市駅」で東武鬼怒川線に乗り換え「鬼怒川温泉駅」下車そこから「女夫淵温泉」行きバスに乗車「川俣温泉」下車

奥鬼怒温泉郷

静かなブナの原生林に囲まれた温泉郷。山深いところにあり、そのたたずまいはまさに秘湯そのもの。

アクセス　東武日光駅から「下今市駅」で東武鬼怒川線に乗り換え「鬼怒川温泉駅」下車そこから「女夫淵温泉」行きバスに乗車　終点下車

日光温泉

二社一寺の門前町に広がる温泉地。温泉宿はもちろん、日帰り温泉などでも楽しめる。

アクセス　JR日光駅または東武日光駅から徒歩、または奥細尾」「中禅寺温泉」「湯元温泉」行きのいずれか

奥日光湯元温泉

1200年もの歴史を持つ日光で最も古い温泉。全国でも珍しい温泉に入れる寺がある。

アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「湯元温泉」行き終点下車

STORY #03

味わい、体験する日光
その日常と非日常

豊かで良質な水に恵まれた日光。
それはそこに生きる人々の日常を潤し、
さまざまな逸品や技を生み出してきた。
他方で日本有数の観光地として、
訪れる人を魅了する非日常的空間も存在する。
その双方が体感できるのもまた、
日光ならではである。

数々の渓谷や湖、滝などが一年を通して美しい景観を作り出す。

日光東照宮が建立された江戸時代の人々の暮らしや文化を体感できるアミューズメントパークでのひとときは非日常体験そのもの。

良質な水から生まれるもの

水に恵まれた日光。美しい稜線でつながる日光連山から流れてくる豊富な伏流水は川になり、湖や湿原、滝となって大地を潤す。水は地下を流れていく途中で自然に濾過されて濁りのない良質なものになり、そしてそれは日光における数々の特産物を生み出してきた。たとえば、日本酒や天然の氷、醤油、漬物などこの地の水を恩恵を受けて作られるものは数多い。どれも冷涼な日光の気候と良い水なしではできない逸品揃いで、それらは訪れる人を楽しませ、旅の味わいを一層豊かにする。

「非日常」を体感する日光

日光には歴史や自然の他に楽しむべきものがいくつかある。その一つがアミューズメントパークやイベント。悠久の時の流れの中から生まれたこの地ならではの非日常体験は旅の記憶を鮮やかなものにしていく。日本有数の観光地として名を馳せる日光。そこはさまざまな驚きや感動に満ちているワンダーランドとも言うべき場所なのである。

NIKKO, the place to go!

味わいと伝統工芸に会いに

この地に何代も続く老舗の数々。
そこには人々の想いや伝統の技への誇りが宿る。

日本酒蔵元［渡邊佐平商店］

日本語のみ

住所 日光市今市450　TEL 0288-21-0007
アクセス　JR日光駅から「今市駅」下車　徒歩約8分　または東武日光駅から「下今市駅」下車　徒歩約8分

日光で180年ほどの歴史をもつ造り酒屋「渡邊佐平商店」。良質な日光の酒米と湧き水で仕込んだ日本酒は「日光誉」「清開」の2銘柄。「純米吟醸日光誉」3種飲み比べの試飲もできる。予約制で酒蔵見学も可能。

天然氷［松月氷室］

日本語のみ

天然氷は日本国内7カ所で作られているが、そのうちの3カ所が日光にある。「日光天然氷」とは専用の池に徹底的に管理された日光の山の水を引き入れ、自然の寒さを利用してゆっくり凍らせる氷のこと。約２週間かけて厚み15cmくらいまで凍らせる天然氷は、緻密で不純物のない硬い氷になり、それを極限まで薄く削ることで綿のようにフワフワのかき氷となる。蔵元松月氷室では通年かき氷を食べることが可能。

住所 日光市今市379　TEL 0288-21-0162
アクセス　JR日光駅から「今市駅」下車　徒歩約6分
または東武日光駅から「下今市駅」下車　徒歩約6分

たまり漬［上澤梅太郎商店］

日本語のみ

日光東照宮創建と時を同じくして店を開いた上澤梅太郎商店。創業400年の長い歴史とともに愛されてきたたまり漬や味噌などが数多く揃う。店の離れにある「隠居うわさわ」ではその漬物を土鍋で炊いたご飯と味噌汁とともに「日本の朝ごはん」として味わうことができる。

住所 日光市今市487　TEL 0288-21-0002
アクセス　JR日光駅から「今市駅」下車　徒歩約8分
または東武日光駅から「下今市駅」下車　徒歩約8分

日光彫［歌ヶ浜 山田屋］

日本語のみ

日光東照宮の建築時に全国から集った職人の技術が日光彫のルーツとされ、「ひっかき刀」で彫る繊細なラインが特徴の日光における伝統工芸品。彫りあげられたのち、漆を何重にも塗っては研ぐ作業を繰り返して作られ、図案と漆の艶の美しさが特徴。日光市内には多くの工房がある。

住所 日光市中宮祠2482　TEL 0288-55-0144
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス
「中禅寺温泉」または「湯元温泉」行き
「中禅寺温泉」下車　徒歩約15分

一筆龍［日光一筆龍 髙瀬］

日本語のみ

古くから中国や日本で数々の伝説で語られ、あらゆるものの長としても崇められている龍。日光でもお寺や神社の天井に守り神として数多く描かれている。そんな龍を一筆で描いた龍画は家門繁栄・招福・厄除けなどのご利益を願ったもの。現在は 3代目龍正が初代・2代目の技術を受け継いでいる。

住所 日光市御幸町577　TEL 0288-25-6467
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス
「世界遺産巡りバス」乗車
「日光行政センター前」下車

精進料理 堯心亭

住所 日光市山内2339-1　TEL　0288-53-3751
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「世界遺産めぐりバス」乗車
「東照宮東参道入口 ホテル清晃苑前」下車　徒歩約1分

日光東照宮のほど近く、木々に囲まれた趣ある数寄屋造りの建物の堯心亭では、精進料理と懐石料理を味わうことができる。精進料理とは、殺生が許されなかった僧侶のための一汁一菜がベースの料理。それを現代風に発展させているが、現在も肉、魚、卵などの動物性食品は使用しないため、ベジタリアンやヴィーガンの食事スタイルを好む人にも大変喜ばれている。懐石料理は肉や魚などの食材も使用しつつ、彩り豊かな日本料理として楽しむことができる料理。いずれも旬を大切に季節ごとにメニューを変え、日光を代表する食材の湯波も堪能できる。

NIKKO, the place to go!

ときめきの非日常体験

観光地ならではの祭りやアミューズメントパーク体験。
誰もが時間を忘れて非日常空間を楽しめる

湯西川温泉 かまくら祭

期間 毎年1月30日～2月28日
会場 湯西川温泉「平家の里」ほか湯西川温泉街各所
TEL 0288-22-1525（日光市観光協会）
アクセス 東武日光駅から「下今市駅」で東武鬼怒川線に乗り換え「鬼怒川温泉駅」下車
日光交通バス「湯西川温泉」行き「湯西川温泉」下車

冬になると一帯が雪に覆われて一面の銀世界が広がる湯西川温泉。この鄙びた山間の温泉地で毎年行われているのが「湯西川温泉かまくら祭」。かまくらとは日本の降雪地帯に伝わる雪で作った小さな家で、中に明かりを仕込んだその様子はとても幻想的である。湯西川温泉ではメイン会場の他、エリア全体でこのかまくら祭を楽しむことができる。特に雪の中に並ぶ小さなかまくらがライトアップされる風景は荘厳そのもの。日本夜景遺産にも認定されているその美しさをぜひ体感したい。

EDO WONDERLAND　日光江戸村

住所 日光市柄倉470-2
TEL 0288-77-1777
営業時間 3/20～11/30 9:00～17:00　12/1～3/19 9:30～16:00
アクセス 東武日光駅から「下今市駅」で東武鬼怒川線に乗り換え
「鬼怒川温泉駅」下車　「EDO WONDERLAND　江戸村行」のバス　終点下車

徳川幕府が治めた時代「江戸時代」の町並みや文化を再現した体験型パーク。入場ゲートを江戸へ向かう「関所」に見たて、そこを通過すればそこはたちまち江戸時代の風景に。街道や宿場、商家の町並みや忍者の里などには侍や町娘、忍者が現れ、本当にその時代にタイムスリップしたかのような体感ができる。侍やお姫様など、自分も当時の衣装を身にまとうことで、江戸人になりきることができる「変身体験」も好評。迫力満点の忍者ショーや１日１回行われる華やかな花魁道中は必見。

東武ワールドスクウェア

住所 日光市鬼怒川温泉大原209-1
TEL 0288-77-1055
営業時間 3/20～11/30 9:00～17:00　12/1～3/19 9:30～16:00
アクセス 東武日光駅から「下今市駅」で東武鬼怒川線に乗り換え
「東武ワールドスクウェア駅」下車

台北101、ワット・アルン、万里の長城など世界でも有名な建造物102点を、25分の1のスケールで忠実に再現している東武ワールドスクウェア。現代日本ゾーン・アメリカゾーン・エジプトゾーン・ヨーロッパゾーン・アジアゾーン・日本ゾーンがあり、精巧な仕上がりのミニチュアは近づいて見ればまるで実際の建物をみているようなリアルさ。そのなかでも世界遺産に指定されている建物は48点あり、世界中にある世界遺産を一度に回った気分に。無料で参加可能のガイドツアーもあり。

NIKKO, the place to go!

由緒ある高級リゾート地としての奥日光

高級リゾート地としての日光は、1873 年に開業された日本最古の西洋式リゾートホテル「金谷ホテル」から始まった。当時の日本はまだ長期のバカンスといった習慣やリゾートという概念などない時代。こうした中で、日本の避暑地として奥日光は歩み始める。やがて各国の大使など、外国人の要人を中心に避暑地文化が花開き、明治中頃から昭和初期にかけてヨーロッパ各国の大使館別荘が建てられ、休暇を楽しむ海外の人々が集う場となった。以来現在に至るまで、奥日光はハイエンドなリゾート地としての歴史を刻み続け、国内外から多くのゲストを迎えている。

1928 年に建てられたイタリア大使館別荘。アメリカ人の建築家、アントニン・レーモンドの設計。

ザ・リッツ・カールトン日光

住所 日光市中宮祠2482　TEL 0288-25-6666
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「中禅寺温泉」または「湯元温泉」行き「ザ・リッツ・カールトン日光」下車

日光の美しい自然と深い歴史とが相まった素晴らしさをゲストに味わってもらいたいと、2020 年 7 月中禅寺湖畔にオープンしたザ・リッツ・カールトン日光。ゲストルームには奥行きの深いバルコニーが全室にあり、設置されたチェアーで湖からの風を感じながらくつろぐことができる。栃木県の食材で仕立てた朝食は、目でも舌でも栃木を味わう宝石箱のよう。座禅やハイキングなどのアクティビティも充実しており、奥日光を堪能する拠点ともなるラグジュアリーリゾートホテルだ。

星野リゾート　界 日光

住所 日光市中宮祠2482-1　TEL 0570-073-011（界 予約センター）
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「中禅寺温泉」または「湯元温泉」行き「中禅寺温泉」下車

星野リゾートが全国に展開する温泉旅館ブランドのひとつ「界 日光」。古き良き日本の温泉旅館のおもてなしをうけ、景色・温泉・食事（会席料理など）を味わうことができる。障子を開ければ眼前に迫る中禅寺湖の景色は、まるで湖に浮いているような臨場感。宮大工の技術の流れを組む「鹿沼組子」の繊細な装飾も見どころ。部屋まで長く続く畳廊下や、玄関に焚かれた「香」など、ゲストは常に感動を与えられる滞在となるだろう。

中禅寺金谷ホテル

住所 日光市中宮祠2482　TEL 0288-51-0001
アクセス　JR日光駅または東武日光駅から東武バス「湯元温泉」行き「中禅寺金谷ホテル前」下車

中禅寺湖と男体山の自然に溶け込むように佇む「中禅寺金谷ホテル」は、日光東照宮のそばにあり現存する日本最古のリゾートホテルである「日光金谷ホテル」の流れをくむホテル。温かみのあるカナディアンログ風の建物では、クラシックリゾートらしい上質なサービスを受けることができる。フレンチのフルコースディナーはヤシオマスなど地産地消を意識した食材で提供。「空ぶろ」と名付けられた露天風呂で満天の星を眺めながら硫黄泉の温泉でくつろぐ時間は格別。

NIKKO, the place to go!

日光をアクティブに楽しむ3つのモデルコース

日光国立公園の自然を体感するショートトリップ

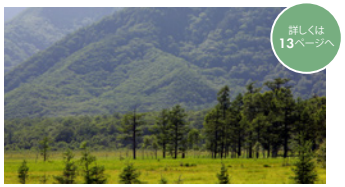
Model Course

JR日光駅または東武日光駅
↓ バス約65分
① Mt.Berry奥日光
↓ 徒歩約5分
② 戦場ヶ原
↓ バス約5分
③ 中禅寺金谷ホテル
↓ バス約5分
④ 華厳ノ滝
↓ 徒歩約10分
⑤ 中禅寺湖畔
↓
中禅寺湖付近のホテル・旅館宿泊

詳しくは25ページへ

① Mt.Berry日光でいちご狩り体験（30分）

栃木県内でも貴重な夏に採れるいちごを30分食べ放題。


詳しくは13ページへ

② 戦場ヶ原ハイキング（90分）

100種類以上の植物やさまざまな動物が息づく自然の宝庫をハイキング。

詳しくは23ページへ

③ 中禅寺金谷ホテルのランチ（60分）

高級リゾートホテルの先駆け。ここで100年前のレシピを再現した名物「百年ライスカレー」のランチ。

詳しくは12ページへ

④ 華厳ノ滝見学（30分）

97mの高低差を水が一気に流れ落ちるさまは圧巻。季節ごとの風景も美しい。

⑤ 中禅寺湖畔散策（60分）

雄大な男体山の姿を仰ぎ見ながらゆっくり散策。湖畔のカフェでくつろぐのもおすすめ。夜は満点の星空を楽しむことができる。

Model Course

JR日光駅または東武日光駅
↓ バス約5分
① うたかた
↓ 徒歩約5分
② 神橋
↓ 徒歩約5分
③ 日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社
↓ 徒歩約5分
④ 堯心亭
↓ 徒歩約10分
⑤ 市内散策
↓
⑥ 着物返却（うたかた）
↓
世界遺産日光の社寺付近のホテル・旅館宿泊

着物で歩きながら日光の神秘に触れる世界遺産巡り

① うたかたでレンタル着物体験（約30分）

住所 日光市中鉢石町918　TEL 0288-53-6465
アクセス JR日光駅または東武日光駅から東武バス「世界遺産巡りバス」乗車「鉢石町」下車　一日レンタルできる着物に着替えて世界遺産見学へ。

② 神橋で写真撮影（約15分）

住所 日光市上鉢石町
TEL 0288-54-0535（日光二荒山神社）
聖地日光の表玄関のシンボルとも言える美しい朱塗りの橋。写真スポットでもある（渡橋は有料）。

詳しくは6・7ページへ

③ 日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社拝観（120分）

言わずと知れた日光で最も有名なパワースポット。歴史ある建物群を観賞した後は、お守りなどの購入を。

詳しくは19ページへ

④ 堯心亭のランチ（60分）

風情ある庭に囲まれた格調高い数寄屋造りの料亭。日光名物の湯波をはじめ、すべて植物性の素材で作られる精進料理を楽しみたい。

⑤ 市内散策（60分）

神橋周辺にあるスイーツの店やお土産屋に立ち寄りながら、日光の街歩きを満喫。

Model Course

東武鬼怒川温泉駅
↓ 徒歩約5分
① 鬼怒川ライン下り
↓ 徒歩約5分
東武鬼怒川温泉駅
↓ バス約20分 / バス約5分 / バス約20分
Ⓐ 日光江戸村 EDO WONDERLAND
Ⓑ 東武ワールドスクウェア
Ⓒ とりっくあーとぴあ日光
↓
鬼怒川温泉付近のホテル・旅館宿泊

鬼怒川温泉付近のアクティビティやテーマパークを楽しむ旅

① 鬼怒川でライン下り体験（40分）

住所 日光市鬼怒川温泉大原1414 TEL 0288-77-0531
アクセス 鬼怒川温泉駅から徒歩5分
鬼怒川の奇岩が作り出す風景の中を豪快に流れていく、スリル満点の川下り。船頭の櫂さばきにも注目。

詳しくは21ページへ

Ⓐ EDO WONDERLAND 日光江戸村入園（240分）

江戸の街並みを再現したアミューズメントパーク。異次元の雰囲気を楽しみながらパーク内の食事処でランチもできる。

詳しくは21ページへ

Ⓑ 東武ワールドスクウェア入園（180分）

世界中の有名な建造物や遺跡を正確にスケールダウン。園内にはミニチュアだけでなくさまざまな仕掛けも。園内にはカフェテリアや湯波料理の店などがあり、ランチも楽しめる。

Ⓒ とりっくあーとぴあ日光入園（60分）

住所 日光市小佐越1-4
TEL 0288-77-3565
アクセス 東武鬼怒川温泉駅からテーマパークめぐりバス「トリックアート前」下車
東武鬼怒川温泉駅周辺でランチを食べたら遊べる美術館でトリックアートの世界を楽しもう。

一年中楽しめる日光のいちご狩り

日光がある栃木県の特産品のひとつ、いちご。
日光地域では一年を通して新鮮ないちごが食べ放題の「いちご狩り」が体験できる。
旅の途中にぜひ日光のいちご三昧を。
（施設によって期間が決まっているので注意）

日光ストロベリーパーク

東武日光駅から「下今市駅」下車
タクシーで約7分

住所 日光市芹沼3581　TEL 0288-22-0615
期間 12月中旬～5月下旬
日光初の観光農園。とちおとめ・スカイベリー・とちあいか・紅ほっぺなど種類の違ういちごが30分食べ放題。（食べ比べはできません）

はないちもんめ

東武日光駅から「下今市駅」で
東武鬼怒川線に乗り換えて「小佐越駅」下車　徒歩約15分

住所 日光市小佐越坂の下800　TEL 0288-77-0866
期間 12月上旬～6月上旬
美しい花が一年中楽しめる植物園。
30分食べ放題のイチゴ狩りを楽しむことができる。要予約。

Mt.Berry奥日光

JR日光駅または東武日光駅から東武バス「湯元温泉」行き「赤沼」下車　徒歩10分

住所 日光市中宮祠3153-2
TEL 0288-55-0287（三本松茶屋）　期間 8月～10月
標高1400mの戦場ヶ原近くの農場。夏に採れるいちご「なつおとめ」の30分食べ放題を行っている。要予約（受付は三本松茶屋）。

NIKKO, the place to go!

バス・電車情報

日光 お得なフリーパス

東武バス
発売場所 東武日光ツーリストセンター TEL 0288-54-0864

- 世界遺産めぐり手形（当日限り有効）— JR・東武日光駅発着の世界遺産めぐりバスのコースを中心とした区間に、1日何回でも自由に乗り降りできるフリーパス
- 湯元温泉フリーパス（2日間有効）
- 大笹牧場フリーパス（2日間有効）
- 中禅寺温泉フリーパス（2日間有効）
- 霧降の滝フリーパス（2日間有効）
- 霧降高原フリーパス（2日間有効）

日光交通

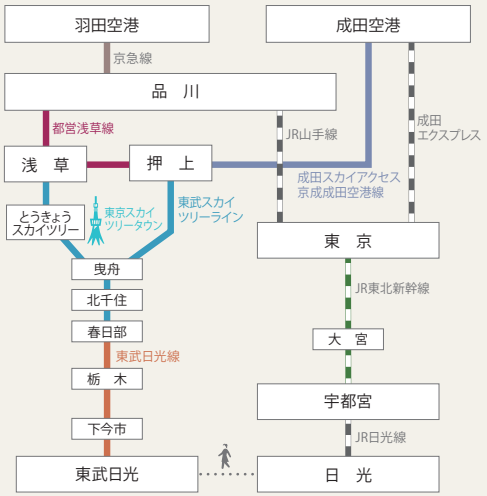
- **鬼怒川・江戸村・湯西川2日間フリーパス** — 湯西川温泉～鬼怒川温泉駅～日光江戸村～花いちもんめ間及び鬼怒川温泉駅～鬼怒川温泉各ホテル間の循環バスを2日間乗降自由のフリーパス　発売場所 鬼怒川温泉駅ツーリストセンター窓口 または https://ticket.jorudan.co.jp/nikko-kotsu/en/index.html
- **鬼怒川1日フリーパス** — 鬼怒川温泉駅～新高徳駅～日光江戸村～花いちもんめ間を1日乗降自由のフリーパス　発売場所 鬼怒川温泉駅ツーリストセンター窓口 または https://ticket.jorudan.co.jp/nikko-kotsu/kg-1d/en/index.html
- **今市・鬼怒川1日フリーパス** — 鬼怒川温泉駅～新高徳駅～日光江戸村～花いちもんめ間に加え、新高徳駅～下今市駅間を1日乗降自由のフリーパス　発売場所 鬼怒川温泉駅ツーリストセンター窓口
- **平家の里・水の郷2日間フリーパス** — 湯西川温泉～水の郷観光センター前間を2日間乗降自由のフリーパス　発売場所 平家の里・水の郷観光センター・バス車内

バス時刻表

東武バス　日光交通

日本語のみ

東京からのアクセス



バスターミナル① 東武日光駅前

- 2A 2C 湯元温泉（中禅寺温泉経由）
- 2B 世界遺産めぐり
- 2C 奥細尾・清滝・やしおの湯・中禅寺温泉
- 2D 霧降の滝（日光霧降スケートセンター経由）
- 2D 大笹牧場（霧降の滝・霧降高原経由）
- 2D 鬼怒川温泉駅

バスターミナル② JR日光駅前

- 1A 湯元温泉（中禅寺温泉経由）
- 1B 世界遺産めぐり
- 1C 奥細尾・清滝・やしおの湯
- 1C 霧降の滝（日光霧降スケートセンター経由）
- 1C 大笹牧場（霧降の滝・霧降高原経由）

バスターミナル③ 中禅寺温泉

- 26A 湯元温泉
- 26B 日光駅
- 26C 半月山（季節運行）

バスターミナル④ 鬼怒川温泉駅前

- 3 日光江戸村

世界遺産日光の社寺周辺

NIKKO, the place to go!

トラベルインフォメーション

WEB

Guidoor　https://www.guidoor.jp/en/cities/3550

楽しく便利に街歩きができる多言語情報サイト。
日・英・仏・中（簡体字・繁体字）・韓・スペイン・インドネシア・タイの8カ国語対応。

Nikko Official Guide　https://www.visitnikko.jp/en/

日光市観光協会が運営する観光情報ポータルサイト。日・英・中（簡体字・繁体字）の3ヵ国語対応。

観光案内所　英語を話すスタッフがていねいにご案内します。

道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣 観光情報館

日光市今市717-1　TEL 0288-22-1525（日光市観光協会）
9:00-17:00営業　無休　JR今市駅または東武下今市駅より徒歩約5分

日光郷土センター

日光市御幸町591　TEL 0288-54-2497　9:00-17:00営業　無休　JR日光駅、東武日光駅より徒歩約10分

鬼怒川・川治温泉観光情報センター

日光市鬼怒川温泉大原1404-1　TEL 0288-77-3111　9:00-17:00営業　無休　東武鬼怒川温泉駅前

東武日光駅構内観光案内所

日光市松原町4-3　9:00-17:00営業　無休　東武日光駅構内　※窓口案内のみ

JR日光駅ツーリストインフォメーションセンター

日光市相生町115-1　9:00-17:00営業　無休　JR日光駅構内　※窓口案内のみ

動画サイト Re:NIKKO

https://www.youtube.com/user/citynikko

日光市wi-fi
スポット情報はコチラ

NIKKO TO GO!
IT'S A WONDERFUL & MAGICAL EXPERIENCE.

発行　（一社）DMO日光
〒321-1292 栃木県日光市今市本町1番地
TEL 0288-25-3320　E-MAIL jimukyoku@dmo-nikko.or.jp
http://dmo-nikko.jp